

府 野 第 6 号
令和 3 年 3 月 2 9 日

関 係 各 位

内閣府事務次官 山崎 重孝
(公印省略)

第 4 回 野口英世アフリカ賞
受賞候補者の推薦について(依頼)

感染症の蔓延は人類共通の脅威であり、アフリカはこの問題に最も深刻に直面する地域であるとの認識の下、日本政府は平成18年7月、「野口英世アフリカ賞」を創設しました。

本賞は、アフリカの地で黄熱病の研究途上に亡くなった野口英世博士(1876～1928年)の志を踏まえ、アフリカにおける感染症等の疾病や公衆衛生への取組において顕著な功績を挙げた方を顕彰し、もってアフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的とします。医学研究と医療活動の2つの分野を設け、アフリカ開発会議(TICAD)の開催時に合わせて日・アフリカ諸国等首脳参加の下に授賞式を行います。各分野の賞金は1億円です。

本賞は、国際的にも注目されており、来年第8回アフリカ開発会議がチュニジアで開催されることから、この度野口英世アフリカ賞受賞候補者を世界中から募集することとしました。

昨今の新型コロナウイルス感染症の状況は、全世界の人々の脅威であり、「アフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上」を目指す野口英世アフリカ賞の重要性を改めて認識する機会にもなっております。

候補資格、審査基準や送付先等を含む詳細は別紙の推薦要項を参照いただき、必要事項を推薦書に御記入ください。医学研究分野は日本学術振興会(JSPS)、医療活動分野はWHOアフリカ地域事務局(AFRO)が事務局機能を担い、個々の推薦書類の送り先となります。締切は本年8月20日(金)です。期限内に提出くださるようお願いいたします(医学研究分野及び医療活動分野ともに電子申請システム若しくはメールによる受付。郵送の場合は同日必着)。

本賞にふさわしい候補者を積極的に御推薦くださるようお願い申し上げます。

野口英世アフリカ賞推薦要項

令和3年3月

賞の目的及び概要

感染症の蔓延は人類共通の脅威です。アフリカはこの問題に最も深刻に直面する地域の一つであるとの認識の下、日本国政府は平成18年7月、野口英世アフリカ賞を創設しました。野口英世博士（1876～1928年）の医学の進歩への揺るぎない信念及びアフリカにおける自己犠牲を伴う研究への献身は、現在もなお我々に大きな励みと指針を与え続けています。本賞は、この理念と、特に問題の解決が求められている地域であるアフリカでの感染症等の疾病対策及び公衆衛生推進の観点に立脚し、以下の2つの分野において顕著な功績を挙げた個人又は団体を顕彰し、もってアフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的としています。

医学研究分野 上記の目的に合致する研究功績を挙げた個人を顕彰します。

医療活動分野 上記の目的に合致する活動功績を挙げた個人又は団体を顕彰します。

授賞式は、アフリカ開発会議（TICAD）の開催に合わせて行われます。第4回野口英世アフリカ賞の受賞者は、令和4年に決定されます（授賞式は、第1回は平成20年5月、第2回は平成25年6月、第3回は令和元年8月に行われました。）。

表彰は、表彰状、賞牌及び賞金（各分野それぞれ1億円）により構成されます。

受賞者は、国内外の推薦を受けた個人又は団体の中から選考されます。医学研究分野は、独立行政法人日本学術振興会に設けられる医学研究分野推薦委員会が選考します。また、医療活動分野は、世界保健機関アフリカ地域事務局に設けられる医療活動分野推薦委員会が選考します。それぞれの分野の受賞候補者を最大3名（医療活動分野は団体も可）まで絞り込み、その中から、内閣府に設けられる野口英世アフリカ賞委員会が最終候補者を選考します。最終的には、内閣総理大臣が野口英世アフリカ賞委員会からの推挙に基づき、受賞者を決定します。

推薦要領

1. 対象分野

■ 医学研究分野

- ・ 基礎医学に関する研究
- ・ 臨床医学に関する研究
- ・ 医学に密接に関連した生命科学の諸領域の研究

■ 医療活動分野

- ・ 現場において展開される疾病対策及び公衆衛生の改善に係る医療／公衆衛生活動

2. 候補資格及び募集要件

候補者の国籍・年齢・性別は問いませんが、生存者に限ります。それぞれの分野に

おける募集要件は下記のとおりです。

■ 医学研究分野

- ・ 原則として1研究テーマにつき1名とします。ただし、共同研究の場合は3名を上限とします。

■ 医療活動分野

- ・ 団体の場合は、現在活動している団体に限ります。
- ・ 原則として1名又は1団体とします。ただし、1名以上ないし1団体以上がチームで活動する場合は3名又は3団体を上限とします。

3. 審査基準

野口英世アフリカ賞は、アフリカに住む人々が直面する問題に取り組むフィールド重視の研究／活動に光を当て、野口英世博士の卓越した勇敢さ、フロンティア精神や人類愛・献身の精神を想起させる医学研究・医療活動を顕彰します。そのような基本理念を踏まえ、以下の基準に従い審査します。

■ 医学研究分野

- ・ アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病に関し、病理学の更なる理解増進に資する研究、又は、人間・環境生態学的側面の更なる理解促進に繋がる創造的・画期的な概念の構築に資する研究、又は、(1)臨床管理、(2)生態系の管理、(3)治療の改善に資する研究であること。
- ・ 研究成果が現実にはアフリカにおける感染症その他の疾病の抑制や治療の対策の前進に貢献している、又は近い将来貢献することが予見されること（アフリカ各国又は国際機関の政策に重要な影響を及ぼした、又は及ぼすことが期待できるもの、アフリカの研究者又は研究機関の国際的な研究推進・交流につながるものが期待されるものも含む）。
- ・ 研究成果がアフリカを中心とする地域に貢献するものであること。

■ 医療活動分野

- ・ アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病への対策の改善又は公衆衛生の推進を目的として行われる活動であること。
- ・ アフリカに住む人々、特に貧困層の保健と福祉の向上への広範かつ直接的な貢献が認められ、ユニバーサルヘルスカバレッジ達成に資する活動であること。
- ・ アフリカの現場において、一定の目標と計画の下に5年以上継続的に展開される活動であること。当該活動の終了後もその成果が持続可能な形で展開され、アフリカの他地域の類似状況に対処するための参考・教訓となるものであること。
- ・ 活動の証拠が、学術誌、会計資料、報告書等としてまとめられていること。
- ・ 政治的、思想的、宗教的背景によって受益者を選択したり、排除したりしていないこと。

4. 推薦に際し必要な情報

推薦書（Nomination Form）に必要情報を記入し、以下の添付書類と併せて提出願います。審査は推薦書及び添付書類に記入された情報に大きく依存しますので、正確、詳細、最新を心がけてください。過去の野口賞で候補者に推薦されていたものの、受賞には至らなかった優秀な候補者についても選考の対象になり得ます。過去に推薦された候補者

が、その後の活動により新たな業績を重ねていると思われる場合については、改めて推薦することをお勧めします。

推薦書及び添付書類は、医学研究分野は英語、医療活動分野は英語又は仏語にて作成願います。なお自己推薦は認めません。

<添付書類>

- ・ 候補者の業績概要（50語程度）
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動に関する簡単な経歴
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動が、どのような形で、なぜ、アフリカにおける感染症その他の疾病対策に貢献があったと考えるかについての説明（任意、2ページ以内）
- ・ 本賞の趣旨に合致する候補者／候補団体の医学研究／医療活動の事実認定に係る文献リスト（特に重要なもの4、5点に印をつけること）
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動について熟知する他の専門家等のサポートレター（任意、5通以内）

推薦書（Nomination Form）及び添付書類に関する様式のサンプルは「野口英世アフリカ賞」ホームページ（<https://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>）及び独立行政法人日本学術振興会のホームページ（<https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>）からダウンロードできます。

提出された推薦書及び添付書類に含まれる個人情報については、「個人情報保護法」（医学研究分野は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び日本学術振興会の「保有個人情報等保護規程」）に基づき厳重に管理し、野口英世アフリカ賞の選考プロセスにおいてのみ使用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む）します。なお推薦書類の提出をもって、個人情報の利用目的に同意したとみなします。

5. 送付先

医学研究分野、医療活動分野ともに電子申請システムを利用願います（できない場合はメールでも可。MS WORD 又は PDF ファイル双方可。宛先は下記のとおり。）。

電子媒体での推薦が困難な場合は郵送を受け付けますが、ファックスでの送付は御遠慮下さい。

■ 医学研究分野

独立行政法人日本学術振興会 野口英世アフリカ賞 医学研究分野推薦委員会 事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1

電子申請システム URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

電子メールアドレス : nh-africa@jsps.go.jp

■ 医療活動分野

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee Secretariat
WHO Regional Office for Africa (AFRO)

Cité du Djoué, P.O.Box 06 Brazzaville, Republic of Congo

電子メールアドレス : noguchiprize@who.int

在日本コンサルタント事務局（オスカー・ジャパン株式会社）
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-35-1 ネオ・シティ三鷹
電子申請システム URL: <https://www.hnaprize.jp/en/nominations/>
電子メールアドレス: secretariat@hnaprize.jp

※電子申請システムを利用願います。

使用できない場合は、下記 2 アドレス

(noguchiprize@who.int 及び secretariat@hnaprize.jp) に送信して下さい。

一方のみの送信の場合、申請が受理されない場合がございますのでご注意ください。

6. 推薦受付締切

令和 3 年 8 月 20 日（金）必着とします。

7. 問合せ先

■ 医学研究分野の推薦

独立行政法人日本学術振興会 野口英世アフリカ賞 医学研究分野推薦委員会 事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1

電話 03-3263-1938/1883

電子メールアドレス: nh-africa@jsps.go.jp

URL: <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

■ 医療活動分野の推薦

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee Secretariat
WHO Regional Office for Africa (AFRO)

Cité du Djoué, P.O.Box 06 Brazzaville, Republic of Congo

電子メールアドレス: noguchiprize@who.int

URL: <https://noguchiprize.afro.who.int/>

在日本コンサルタント事務局（オスカー・ジャパン株式会社）

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-35-1 ネオ・シティ三鷹

電話 0422-24-6816

電子メールアドレス: secretariat@hnaprize.jp

URL: <https://www.hnaprize.jp/>

■ 賞全体に関すること

内閣府 大臣官房 企画調整課 野口英世アフリカ賞担当室

電話 03-5501-1774, FAX 03-3502-6255

URL: <https://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>

以上

HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE NOMINATION GUIDELINES

March 2021

PURPOSE AND DESCRIPTION OF THE PRIZE

The spread of infectious diseases presents a common threat to all humankind. Mindful that Africa faces this scourge most acutely, the Government of Japan established the Hideyo Noguchi Africa Prize in July 2006 in memory of Dr. Hideyo Noguchi (1876-1928) whose belief in medical advancement and self-sacrificing activities in Africa remains a beacon of inspiration to all. Guided by these ideals and mindful of the ominous human suffering persisting in Africa, the region facing the most serious health challenge on the globe, the Prize aims to honor individuals and organizations active in the fields of medical research and medical services in Africa with outstanding achievements from the viewpoints of combatting infectious and other diseases as well as of promoting public health in Africa, thus contributing to the health and welfare of the African people and of all humankind.

The Prize consists of two categories: *Medical Research* which honors individuals and *Medical Services* which honors individuals and organizations.

The award ceremony will be held to coincide with the Tokyo International Conference on African Development (TICAD). The recipient of the Fourth Hideyo Noguchi Africa Prize will be selected in 2022. The first being awarded in 2008, the second in 2013 and the third in August 2019.

The Prize is awarded in both the medical research and medical services categories, with a citation, medal and 100 million yen (equivalent to about one million US dollars).

The selection process comprises two stages: (1) a recommendation of up to three candidates by each of the two sub-Committees, one for the medical research category established under the auspices of the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) and the other for the medical services category established under the African Regional Office (AFRO) of the World Health Organization, and (2) a final deliberation of the candidates is made in the two categories by the Hideyo Noguchi Africa Prize Committee, which makes referrals to the Prime Minister for final decision.

NOMINATION GUIDELINES AND REQUIREMENTS

1. SCOPE

- Medical Research
 - Basic medical research
 - Clinical medical research
 - Research in all fields of life science closely related to medicine

- Medical Services
 - Field-level medical/public health activities to combat diseases and advance public health

2. ELIGIBILITY

No distinction will be made based on the nationality, age or gender of the nominees, who are limited to people still living. Nominee eligibility for the two categories are as follows:

■ Medical Research

- Nominations are in principle to be for one individual. In the case of joint research, however, a maximum of three individuals will be considered.

■ Medical Services

- In the case of nominating an organization, nominations are limited to one currently active organization.
- Nominations are in principle to be one individual or one organization per activity. Under exceptional circumstances, however, when more than one individual or organization work as a team, a maximum of three individuals or organizations will be considered.

3. NOMINATION/SELECTION CRITERIA

The Hideyo Noguchi Africa Prize shines a light on important research and activities carried out in the field to tackle directly issues affecting people who live in Africa. It recognizes medical research and medical service activities that call to mind Dr. Noguchi's gallantry, frontier spirit, spirit of dedication and love for humanity. Upon these basic precepts, that the selection processes take place based on the following criteria.

■ Medical Research

- The research has established original and/or milestone concepts for better understanding the pathology or the human and environmental ecology of infectious or other diseases prevalent in Africa, or has improved (1) clinical management, (2) ecological management, or (3) patient therapy relevant to such diseases.
- The research results have in practice contributed, or will contribute in the near future, to improving measures for controlling or treating infectious or other diseases prevalent in Africa. This includes research that has had, or is expected to have, an important influence on the policies of African governments or on international agencies. This also includes research that is expected to link African researchers or African research organizations to programs and initiatives that advance international research and collaboration.
- Research results that contribute to other regions but are centered on Africa.

■ Medical Services

- The activity is aimed to fight against infectious or other diseases prevalent in Africa or to improve public health in Africa
- The activity has broad and direct impact on the improvement of health and welfare of the African people, particularly the poor and contributes to achieving universal health coverage.
- The activities have been carried out on-site for more than 5 years under a defined goal and structured plan. They should have results that can be sustainably developed, allowing other regions of Africa with similar conditions to derive reference or training possibilities from the results.
- The Activities need to have evidence in scientific journals, accounting documents, reports, etc.
- The activities should not be biased to the extent that beneficiaries are neither to be selected nor rejected based on their political, ideological or religious backgrounds.

4. NOMINATION INFORMATION

Please fill out the attached HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE NOMINATION FORM with the necessary information and submit it with the supplementary documents listed below. Please note that the evaluation of the nominee's contributions will depend heavily on the quality of information supplied in your nomination form and supplementary documents. Therefore, your nomination should be accurate, detailed and current. Distinguished past nominees who were not awarded the Prize may be eligible for selection for this year's Prize. It is recommended that you nominate such persons again if they are thought to have produced further contributions in the course of their work since their previous nomination. Please prepare all documents in English for Medical Research and either in English or in French for Medical Services. The nominator and nominee may not be the same person.

- Please provide a brief description of the nominee's contributions in the area of medical research or medical services within the context of the Prize's concept. (about 50 words)
- Please present a brief biography including academic, administrative and/or research positions, awards and/or recognitions.
- Please outline how and why the research/activity of the nominee has contributed to the advancement and improvement of measures against infectious and other diseases prevalent in Africa, if any. (within 2 pages)
- Please provide the titles of publications that represent the nominee's contributions. (Please mark 4-5 of best publications among them if there are many.)
- Please arrange for other specialists familiar with the nominee's work to provide supporting letters. (up to 5 letters)

Please note that nomination form and supplementary documents format (sample) may be downloaded either from the Cabinet Office website (<https://www.cao.go.jp/noguchisho/english/index.html>) or from the JSPS website (<https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>).

Any personal information contained in the submitted nomination form and supplementary documents will be handled with the utmost care in accordance with the Act on the Protection of Personal Information (in the case of medical research, Act on the Protection of Personal Information Held by Incorporated Administrative Agencies, etc. and JSPS's own regulations for protecting personal information), and will only be used as part of the selection process for the Hideyo Noguchi Africa Prize (including the provision of personal information to private-sector companies or other external partners for the purpose of carrying out consigned electronic data processing and data management). By submitting these nomination documents, you hereby agree to the use of said personal information for the aforementioned purposes.

5. SUBMISSION ADDRESSES

For medical research nominations, please use the JSPS electronic application system. (If not possible, please put your nomination in MS WORD or PDF format and email it to nh-africa@jsps.go.jp.)

For medical services nominations for the fourth prize, please use the electronic application system of the HNAP Medical Services Category Selection Committee Supporting Secretariat in Japan (Oscar Japan Co., Ltd. providing consultancy services to WHO AFRO). If not possible, please put your nomination in MS WORD or PDF format

and email it to both of the following addresses: noguchiprize@who.int and secretariat@hnaprize.jp. Please note that emailing to only one of the addresses above may result in your application not being processed.

If necessary, nominations may be submitted by postal mail. However, please do not fax your nominations.

■ Medical Research

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Research Selection Committee Secretariat
Japan Society for the Promotion of Science
5-3-1 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan
Electronic Application System URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>
E-mail: nh-africa@jsps.go.jp

■ Medical Services

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee Secretariat
WHO Regional Office for Africa (AFRO)
Cité du Djoué, P.O. Box 06 Brazzaville, Republic of Congo
E-mail: noguchiprize@who.int

Supporting Secretariat in Japan
(Oscar Japan Co., Ltd. providing consultancy services to WHO AFRO)
Neocity Mitaka, 3-35-1 Shimorenjaku, Mitaka-shi, Tokyo 181-0013, Japan
Electronic Application System URL: <https://www.hnaprize.jp/en/nominations/>
E-mail: secretariat@hnaprize.jp

6. DEADLINE

The nominations and supporting letters must reach the respective secretariat by no later than August 20th, 2021.

7. ENQUIRIES

■ Medical research nominations

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Research Selection Committee Secretariat
Japan Society for the Promotion of Science (JSPS)
5-3-1 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan
Tel: +81-3-3263-1938/1883
E-mail: nh-africa@jsps.go.jp
URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

■ Medical services nominations

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee Secretariat
WHO Regional Office for Africa (AFRO)
Cité du Djoué, P.O. Box 06 Brazzaville, Republic of Congo
E-mail: noguchiprize@who.int
URL: <https://noguchiprize.afro.who.int/>

Supporting Secretariat in Japan

(Oscar Japan Co., Ltd. providing consultancy services to WHO AFRO)

Neocity Mitaka, 3-35-1 Shimorenjaku, Mitaka-shi, Tokyo 181-0013, Japan

Tel. +81-422-24-6816

E-mail: secretariat@hnaprize.jp

URL: <https://www.hnaprize.jp/en/>

■ General information about the Prize

Office of Hideyo Noguchi Africa Prize, Cabinet Office, Tokyo

Tel: +81-3-5501-1774, Fax: +81-3-3502-6255

URL : <https://www.cao.go.jp/noguchisho/english/index.html>

■ NOMINATION GUIDELINES AND REQUIREMENTS

1. Objectives

- To recognize and honor individuals who have made significant contributions to the field of medicine.
- To encourage research and development in the field of medicine.
- To promote the health and well-being of the people of Africa.

2. Medical Services

• To address medical/health services to create a better and advanced public health

**HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE
NOMINATION FORM**

March 2021

Please check the appropriate category (you may not choose both categories).

Medical Research

Medical Services

Nominee

Name

Gender

Areas of Nominee's Contribution (write 3-5 key words)

Designation

Organization Name

Address

Telephone

Fax

E-mail Address

Nationality

Date of Birth

Nominator

Name

Designation

Organization Name

Address

Telephone

Fax

E-mail Address

By submitting this form, I agree to the objective of usage of personal information stipulated in the nomination guidelines. (P.T.O.)

Supplementary Documents Format (Sample)

Date:

1. Brief description of the nominee's contributions in the area of medical research/medical services within the context of the Prize's concept. (about 50 words)

2. Brief biography including academic, administrative and/or research positions, awards and/or recognitions.

Personal Information

Name:

Designation:

Organization Name:

Education

Degrees

Work Experience

Awards/Recognitions

Licenses

Academic/Professional Memberships and Other Professional Activities

3. Outline how and why the research/activity of the nominee has contributed to the advancement and improvement of measures against infectious and other diseases prevalent in Africa, if any. (within 2 pages)

4. The titles of publications that represent the nominee's contributions.
(Please mark 4-5 of best publications among them if there are many.)

(Books)

(Articles)

(Conference Presentations)

(Textbooks/Miscellaneous)

5. The list of supporting letters by other specialists familiar with the nominee's work. (Attach those supporting letters. Up to 5 letters)

- 1) Name, Organization Name
- 2) Name2, Organization Name 2
- 3) Name3, Organization Name 3



Dr. Hideyo Noguchi

Hideyo Noguchi (1876–1928) was a prominent Japanese bacteriologist in the early twentieth century. In spite of a physical handicap, burn on his left hand during his early childhood, he managed to obtain, through extraordinarily hard work, a license to practice medicine in Japan. He moved to the United States in 1900 to work with Prof. Simon Flexner at the University of Pennsylvania and in 1904 joined the Rockefeller Institute for Medical Research (now Rockefeller University). He made important studies of snake venoms, of smallpox and yellow-fever vaccines, and of the laboratory diagnosis of trachoma. One of his most important achievements of this period was the successful cultivation of pure Syphilis Spirochaeta in 1911 which brought him to world prominence.

After extensive travel throughout Central and South America researching on vaccines for such diseases as yellow fever, Oroya fever and poliomyelitis which threatened the lives of millions of people in those days, he eventually ventured into Africa to confirm his findings. He tried to demonstrate the hypothesis that yellow fever was caused by spirochete bacteria but in vain, because at that time the electron microscope to observe viruses had not been invented yet.

While working in Accra, Ghana, he was struck down by the yellow fever virus, his last words being "I don't understand." The grave of Dr. Hideyo Noguchi in Woodlawn Cemetery in New York, the United States, is inscribed with the following epitaph: "Through devotion to science, he lived and died for humanity." In 2004, Dr. Noguchi became the first Japanese scientist to have his portrait printed on a Japanese banknote (1000-yen note).



Dr. Hideyo Noguchi in his lab at the Rockefeller Institute for Medical Research (Photo: Hideyo Noguchi Memorial Foundation)



The grave of Dr. Hideyo Noguchi in Woodlawn Cemetery (Photo: New York Hideyo Noguchi Memorial Society, Inc. (HNMS))

Le docteur Hideyo Noguchi

Hideyo Noguchi (1876-1928) était un éminent bactériologue japonais dans les premières années du vingtième siècle. En dépit d'un handicap physique, brûlure à la main gauche survenue dans sa prime enfance, il avait pu obtenir, grâce à un travail extraordinaire et assidu, une autorisation pour pratiquer la médecine au Japon. Il a émigré aux États-Unis en 1900 pour travailler avec le Professeur Simon Flexner à l'Université de Pennsylvanie et en 1904, il a rejoint l'Institut Rockefeller pour la Recherche médicale (actuellement Université Rockefeller). Il a fait d'importantes études sur les venins de serpents, les vaccins de la variole et de la fièvre jaune, et le diagnostic en laboratoire du trachome. Une de ses plus importantes réalisations de cette période a été de réussir la culture de Syphilis Spirochaeta pur en 1911, ce qui l'a fait connaître dans le monde.

Après différents voyages de recherche à travers l'Amérique centrale et du Sud sur les vaccins pour les maladies telles que la fièvre jaune, la fièvre d'Oroya et la poliomyélite, qui menaçaient la vie de millions de gens à cette époque, il s'est finalement aventuré en Afrique pour confirmer ses conclusions. Il a essayé de démontrer l'hypothèse selon laquelle la fièvre jaune était causée par des bactéries de spirochète mais en vain, du fait que c'était avant la venue du microscope électronique et la découverte de virus. Pendant qu'il travaillait à Accra, Ghana, il fut terrassé par le virus de la fièvre jaune, ses derniers mots ont été "je ne comprends pas." Le docteur Hideyo Noguchi repose au cimetière de Woodlawn, dans le Bronx à New-York. Il est inscrit sur sa sépulture: "Par dévotion pour la science, il a vécu et est mort pour l'humanité." En outre, le docteur Hideyo Noguchi est le premier scientifique japonais dont le portrait a été choisi (en 2004) pour figurer sur un billet de banque japonais (billet de 1000 yens).

Le docteur Hideyo Noguchi dans son laboratoire à l'Institut Rockefeller pour la recherche médicale (Photographie: Hideyo Noguchi Memorial Foundation)

Sépulture du docteur Hideyo Noguchi, qui repose au cimetière de Woodlawn (Photographie: New York Hideyo Noguchi Memorial Society, Inc. (HNMS))

Vida de Hideyo Noguchi

El doctor Noguchi nació en el seno de una humilde familia campesina de la aldea de Mitsuwa (actual pueblo de Inawashiro), distrito de Yama, prefectura de Fukushima (Japón) en el año 1876.

A la corta edad de un año y seis meses, se cayó en la chimenea *irozi*, una chimenea tradicional hundida bajo el nivel del suelo en las viviendas tradicionales japonesas, y sufrió unas graves quemaduras que le dejaron su mano izquierda deformada y discapacitada. Pese a todo esto, tras ingresar en la escuela primaria, como resultado de su característica perseverancia, obtuvo unas excelentes calificaciones académicas. Durante su época de estudiante en la Escuela Primaria Superior de Inawashiro, gracias al apoyo de sus profesores y alumnos, fue operado de su mano izquierda por el doctor Kanae Watanabe. Con base en esta vivencia, decidió que de mayor sería médico, y recibió el patrocinio para ser estudiante de la Clínica Médica Eyo de la ciudad de Aizuwakamatsu. El doctor Noguchi, sacrificando horas de sueño, se dedicó plenamente al estudio, y en el año 1896, a la edad de 19 años se mudó a Tokio para rendir los exámenes de la licencia de práctica médica, que obtendría con éxito a la edad de 20 años. En el año 1900, se desplazó a los Estados Unidos, y tras haber pasado por la Universidad de Pensilvania, y haber sido estudiante internacional en Dinamarca, se le contrata por la recién fundada Universidad Rockefeller, en donde se dedicó en cuerpo y alma a la investigación en bacteriología. En el año 1911, se ganó la atención mundial por su éxito en el cultivo axénico de la espiroqueta sifilítica. En el año 1918, comenzó a investigar acerca de la fiebre amarilla. Y en el año 1927 viajó hasta Acra, capital de Ghana, para investigar y ofrecer un tratamiento frente al brote de fiebre amarilla que estaba asolando la costa occidental de África. En el año 1928, durante sus trabajos de investigación en Ghana, el propio doctor Noguchi acabó contagiado por la fiebre amarilla, que finalmente se cobró su vida. Nos dejó a la edad de los 51 años.

El doctor Noguchi fue enterrado en el cementerio de Woodlawn, ubicado en el distrito del Bronx de la ciudad de Nueva York. En el epitafio de su tumba restan escritas las siguientes palabras: "Un doctor dedica su vida a la ciencia, vive por la humanidad, y da su vida por la humanidad". En el año 2004, el doctor Noguchi fue el primer científico japonés en ser elegido como imagen de un billete de la divisa nipona, el billete de 1000 JPY.

El doctor Hideyo Noguchi en el laboratorio de investigación médica de la Universidad Rockefeller
(Fotografía: Museo Memorial de Hideo Noguchi)

Tumba en la que descansa en paz el doctor Hideyo Noguchi ubicada en el cementerio de Woodlawn
(Fotografía: Asociación Memorial de Hideyo Noguchi en Nueva York)

História de Vida de Hideyo Noguchi

O Dr. Noguchi nasceu numa família pobre de agricultores, na Vila de Mitsuwa (atual Bairro de Inawashiro), Município de Yama, Província de Fukushima.

Com 1 ano e meio de idade, Hideyo caiu na sua lareira e sofreu graves queimaduras, deixando os dedos da sua mão esquerda unidos e esta bastante deformada. Apesar disso, e graças ao seu esforço, concluiu o Ensino Fundamental com notas excelentes. Enquanto frequentava a Escola de Ensino Fundamental II de Inawashiro, obteve o apoio de colegas e professores, conseguindo submeter a sua mão esquerda a uma cirurgia, executada pelo médico Kanae Watanabe. Esse facto motivou Hideyo a seguir a profissão de médico, tornando-se para isso estudante aprendiz na clínica Kaiyou, na cidade de Aizuwakamatsu.

O Dr. Noguchi passou noites em claro a estudar. Em 1896, aos 19 anos, mudou-se para Tóquio com o objetivo de fazer o exame de qualificação para a prática de medicina e, aos 20 anos, formou-se como médico. Em 1900, mudou-se para os EUA e, da Universidade da Pensilvânia, rumou à Dinamarca para fazer investigação como bolsista. Após os seus estudos no estrangeiro, trabalhou no recém-fundado Instituto Rockefeller para a Investigação Médica, onde se dedicou de corpo e alma à pesquisa bacteriológica. Em 1911, foi bem sucedido na obtenção de uma cultura pura da espiroqueta da sífilis, o que atraiu a atenção mundial. Em 1918, começou as suas pesquisas sobre a febre amarela, e em 1927, viajou até Accra, no Gana, para estudar e tratar um surto de febre amarela que se abateu sobre a costa oeste da África. Em 1928, durante as suas pesquisas, contaminou-se com a febre amarela e faleceu aos 51 anos no Gana.

O Dr. Noguchi está enterrado no cemitério de Woodlawn, no Bronx, Nova Iorque, e na sua lápide está inscrito: "O doutor que, através da sua devoção à ciência, viveu e morreu em prol da humanidade". O Dr. Noguchi foi ainda o primeiro cientista japonês escolhido, em 2004, para figurar na cédula japonesa de 1000 ienes.

Dr. Hideyo Noguchi no seu laboratório no Instituto Rockefeller para a Investigação Médica
(Fonte: Hideyo Noguchi Memorial Foundation)

Túmulo do Dr. Hideyo Noguchi no Cemitério Woodlawn
(Fonte: New York Hideyo Noguchi Memorial Society, Inc.)

حياة هيديو نوجوتشي

ولد د. نوجوتشي عام 1876 لعائلة من المزارعين الفقراء بقرية ميتسوا (بلدة إيناواشيرو حالياً) الواقعة في منطقة ياما بمحافظة فوكوشيما. حين كان عمره سنة ونصف السنة، سقط في الموقد وأصيب بحروق بليغة أدت إلى التحام أصابع يده اليسرى ببعضها ومعاناته من إعاقة فيها، إلا أنه حقق نتائج دراسية ممتازة عند التحاقه بالمدرسة الابتدائية بفضل مثابرته المميزة. أثناء دراسته بمدرسة إيناواشيرو الثانوية وبفضل مساعدة معلميه وزملائه خضع نوجوتشي لعملية جراحية في يده اليسرى على يد الطبيب كانهه واتانابي، ولهذا السبب سعى لأن يصبح طبيباً وأصبح تلميذاً بعبادة كاييو الواقعة في آيزو واكاماتسو. لم يتكامل نوجوتشي وقضى معظم وقته في الدراسة، وانتقل إلى طوكيو في سن التاسعة عشرة عام 1896 للخضوع لامتحان ممارسة مهنة الطب فأصبح طبيباً في سن العشرين، ثم انتقل إلى الولايات المتحدة الأمريكية عام 1900 ودرس بجامعة بنسلفانيا كما ذهب للدراسة في الدنمارك ثم عاد وبدأ العمل بمعهد روكفلر للأبحاث الطبية الذي تأسس حديثاً مكرساً نفسه لأبحاث علم الجراثيم. وفي عام 1911 نجح في الاستنباط النقي لمكتوبيا الزهري الملتهوية مما جعله محط الانتباه من جميع أنحاء العالم. بدأ نوجوتشي بأبحاث الحمى الصفراء عام 1918، وانتقل عام 1927 إلى مدينة أكرا في غانا لدراسة وعلاج الحمى الصفراء التي نشأت في الساحل الغربي لإفريقيا، وتوفي هناك في عام 1928 عن عمر 51 عاماً بسبب إصابته بالحمى الصفراء أثناء بحثه. تم دفن د. نوجوتشي في مقبرة وودلون بحي بروكس في مدينة نيويورك. يقول النقش الموجود على قبره: "عاش ومات من أجل الإنسانية بتفانيه في العلم". ويعتبر نوجوتشي أول عالم ياباني يتم اختياره لوضع صورته على ورقة نقدية يابانية (1000 ين) عام 2004.

د. هيديو نوجوتشي في مختبر معهد روكفلر للأبحاث الطبية
(الصورة من متحف هيديو نوجوتشي التذكاري)

قبر د. هيديو نوجوتشي في مقبرة وودلون
(الصورة من جمعية هيديو نوجوتشي التذكارية بنيويورك)

(Excerpt from the pamphlet of Hideyo Noguchi Africa Prize in English and French and translation in Spanish, Portuguese and Arabic)